

★夢と希望を持てる日田

実施計画

日田の歴史・文化を守り育てる ・「市民文化会館活用促進会議」の設置

背景及び課題（日田市からの回答）

市民に愛され市民の誇りとなる施設を目指し、平成17年度から19年度の3ヵ年、約60億円の事業費で「日田市民文化会館（パトリア日田）」が建設されました。この「パトリア日田」は、市民による市民のための施設、文化の賑わいのある施設、文化創造の拠点としての施設、まちづくりと情報発信としての施設を基本理念として建設されました。

夢と希望の持てる日田にするためには文化は欠かせません。

この施設を多くの市民が有効に活用し、文化に触れる機会を増やすことが必要です。

進捗状況（日田市からの回答）

・「市民文化会館活用促進会議」の設置 【達成状況：実施済】

多くの市民に文化会館を活用してもらう方策を考える「市民文化会館活用促進会議」は、平成19年4月に施行しました「日田市民文化会館の設置及び管理に関する条例」に基づき、会館の適正かつ効果的な運営を図るための日田市民文化会館運営委員会を19年7月に設置されていました。

このため、促進会議を設置することなく、この運営委員会を活用していくこととしています。

この運営委員会は施設の利用促進に関する事項について、審議をいただく役割も担っており、設置もない委員会でありますことから、この会議での意見の推移を見守りながら、施設の利活用の促進に努めます。

市長自己評価コメント

既に、日田市民文化会館運営委員会が設置されており、この委員の皆さんの活動に期待します。

12月のオープン以降、多くの人に利用してもらっていますが、設備や料金等に関する苦情やご意見が数多く寄せられており、今後の対応や方向性について、委員会に議論をお願いしていきます。

★市民の評価	
評価観点	
「市民文化会館活用促進会議」の設置（19年～）により多くの市民が参加し意見交換が行われ、市政への参画の場になっているか。	
評価手法（評価主体となった市民、団体、組織なども記入）	
市役所総務課、企画課、文化振興課へのヒアリング	
コメント	
<p>旧日田市民会館は、民間委託で運営されていたため、市民の声が反映されにくい面がありましたが、新しい総合文化施設パトリア日田は公営となり総合文化会館活用促進会議（日田市文化会館運営委員会）を設置し、幅広く市民の意見を反映させた運営を心がけています。2007年7月から発足され、9名の構成メンバーの内、文化活動関係者以外に商店街連合会や自治会連合会からの推薦者、また、一般市民からの公募者が3名います。まだ開館して、1年半足らずなのでこれまでの事業検証をした上でのスタッフ指導やコンプライアンス（法令、条例規則）の確認等が中心となっているようです。課題は、ボランティア人員不足が挙げられますが、一部民間委託も含めての検討も必要だと思います。また、委員会メンバーに商店街の方や、一般公募者がいるものの、少人数の為、討議内容をホームページや市報で公表し、パブリックコメント（日田市意見提出手続）などで幅広く市民の意見を吸収する必要があります。</p>	

市民の採点	
形式と妥当性の評価	21/30
実行性の評価	29/50
効果の評価	* / *
合計点	50/100 (80)